

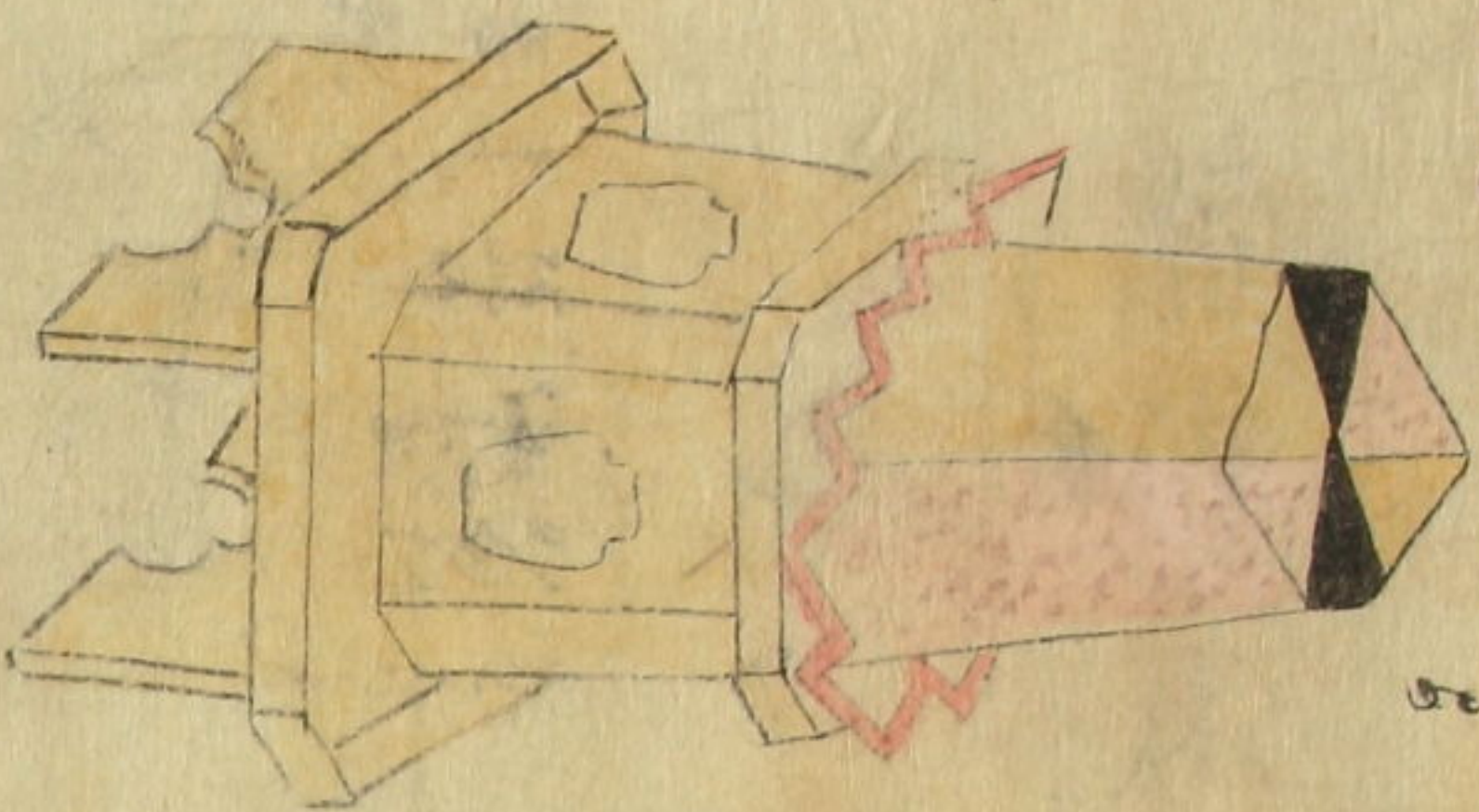
婚禮床飾之卷



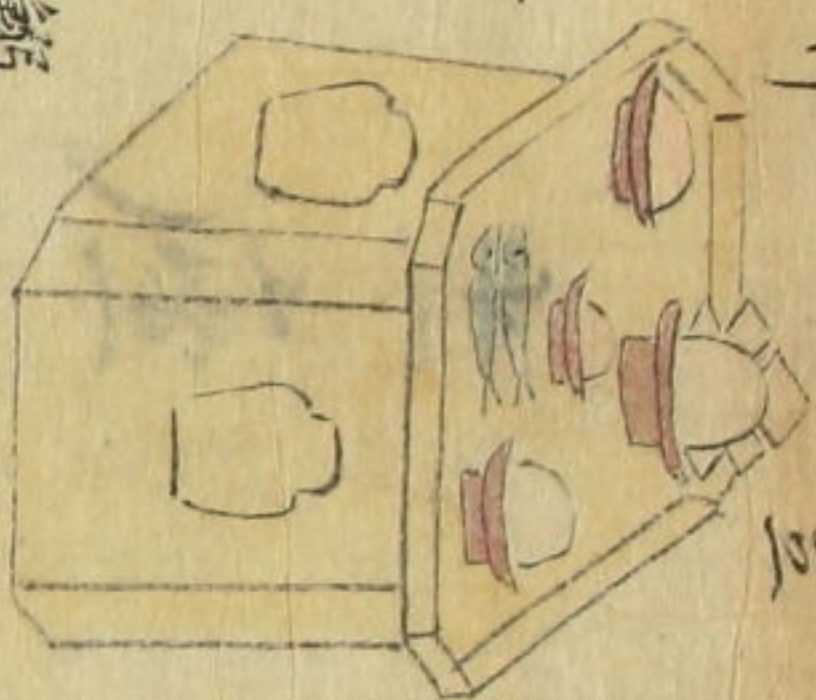
卷五
婚禮
床飾

上座

上座
の
飾り



海月

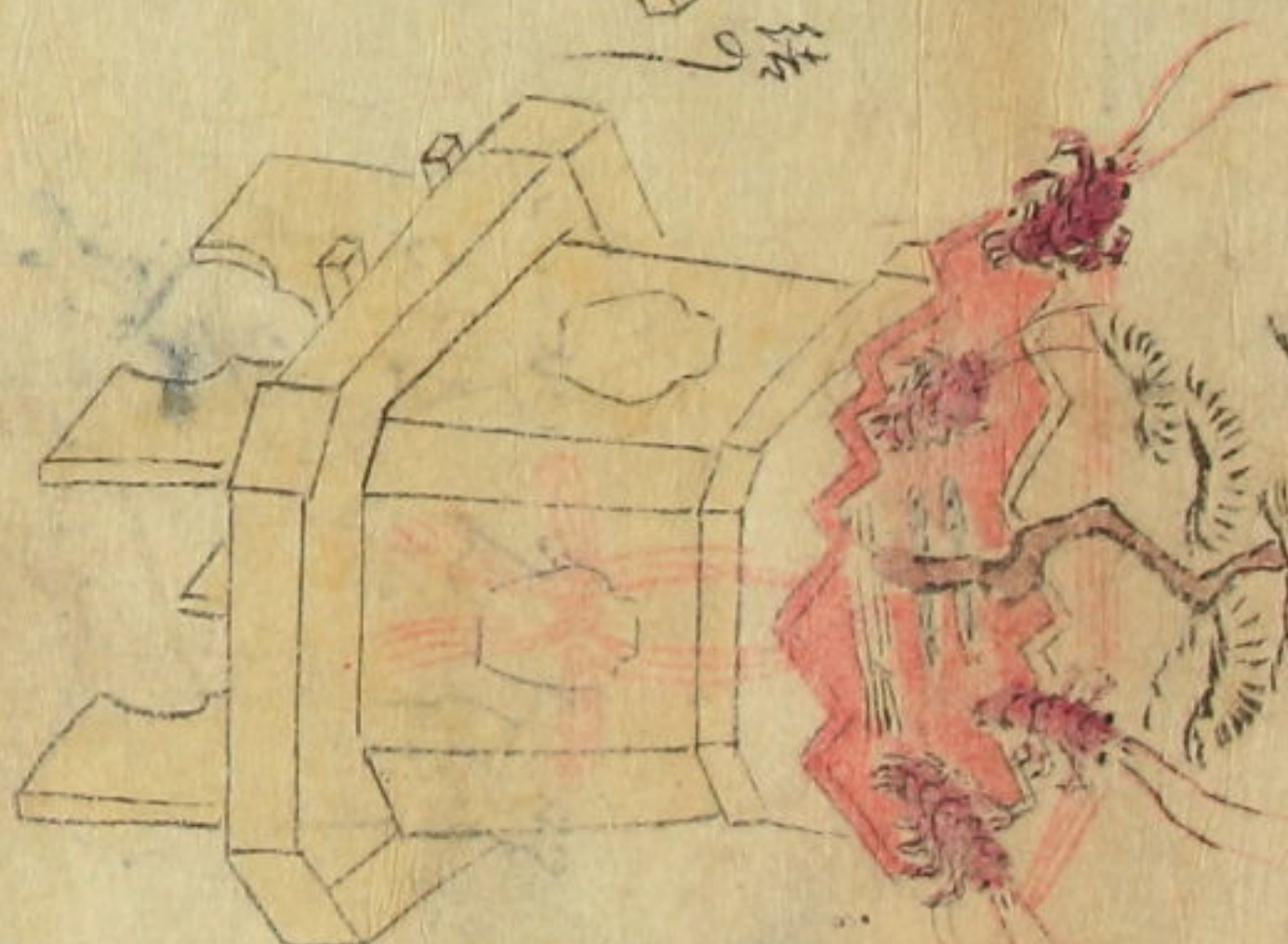


鯉汁

食

蝶甲三

結



鯛二腹合

手掛

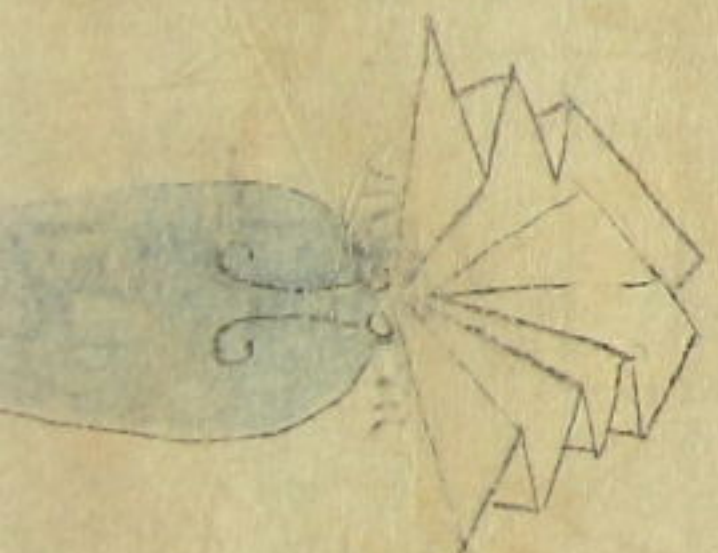
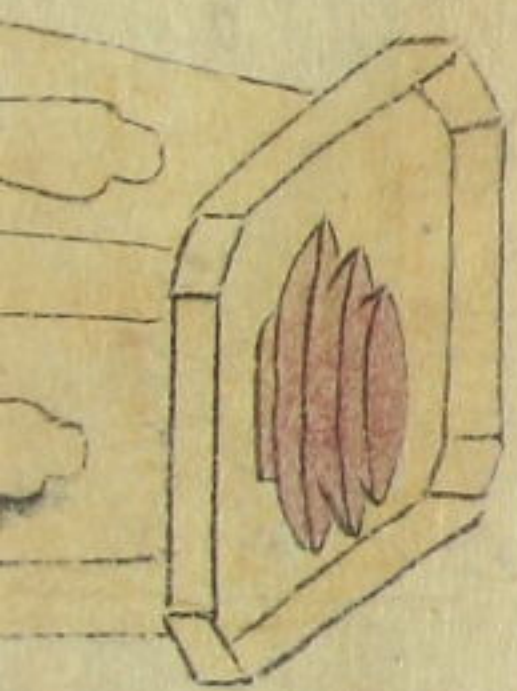
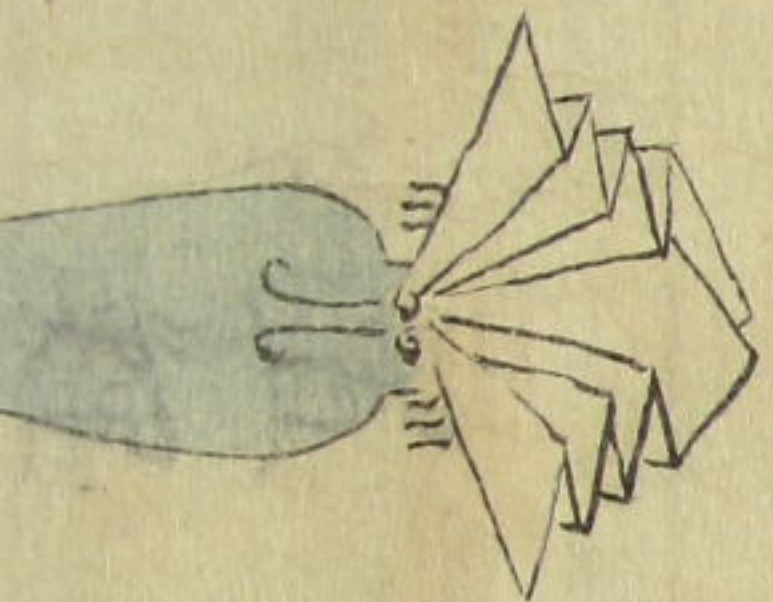
郷食膳

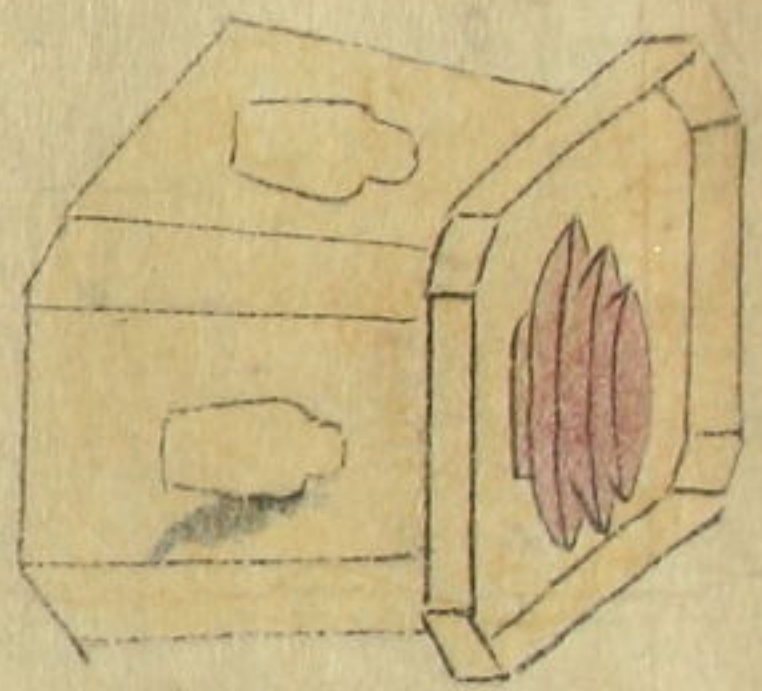
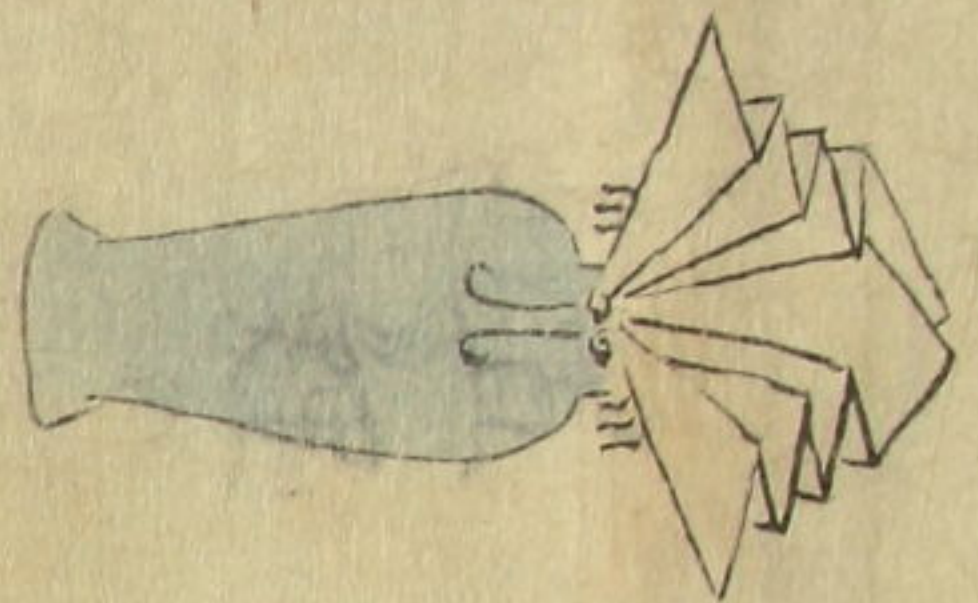
二重



置鯉

置鳥

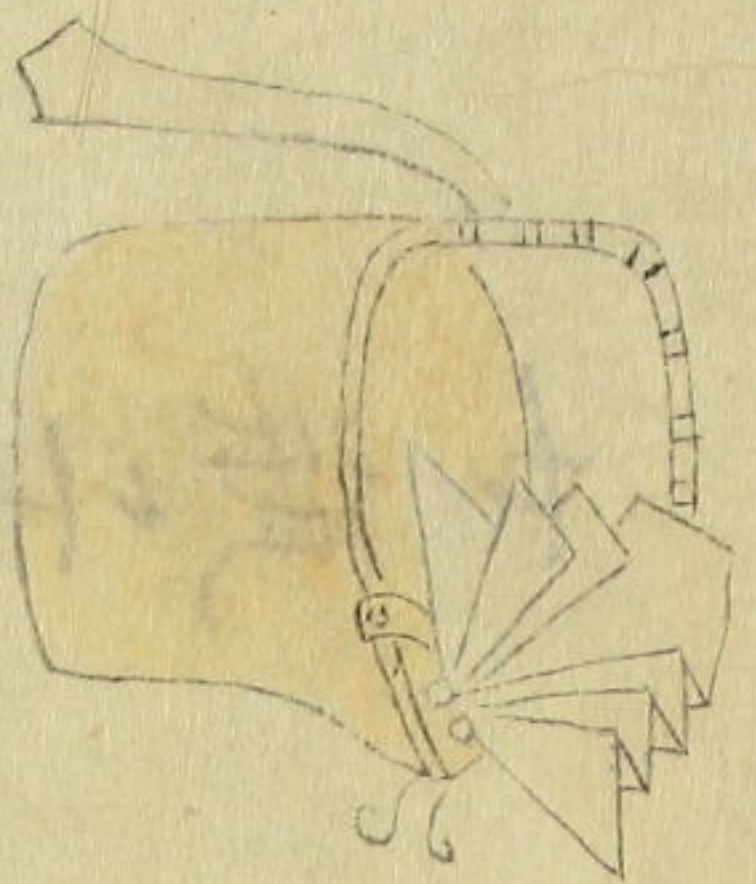




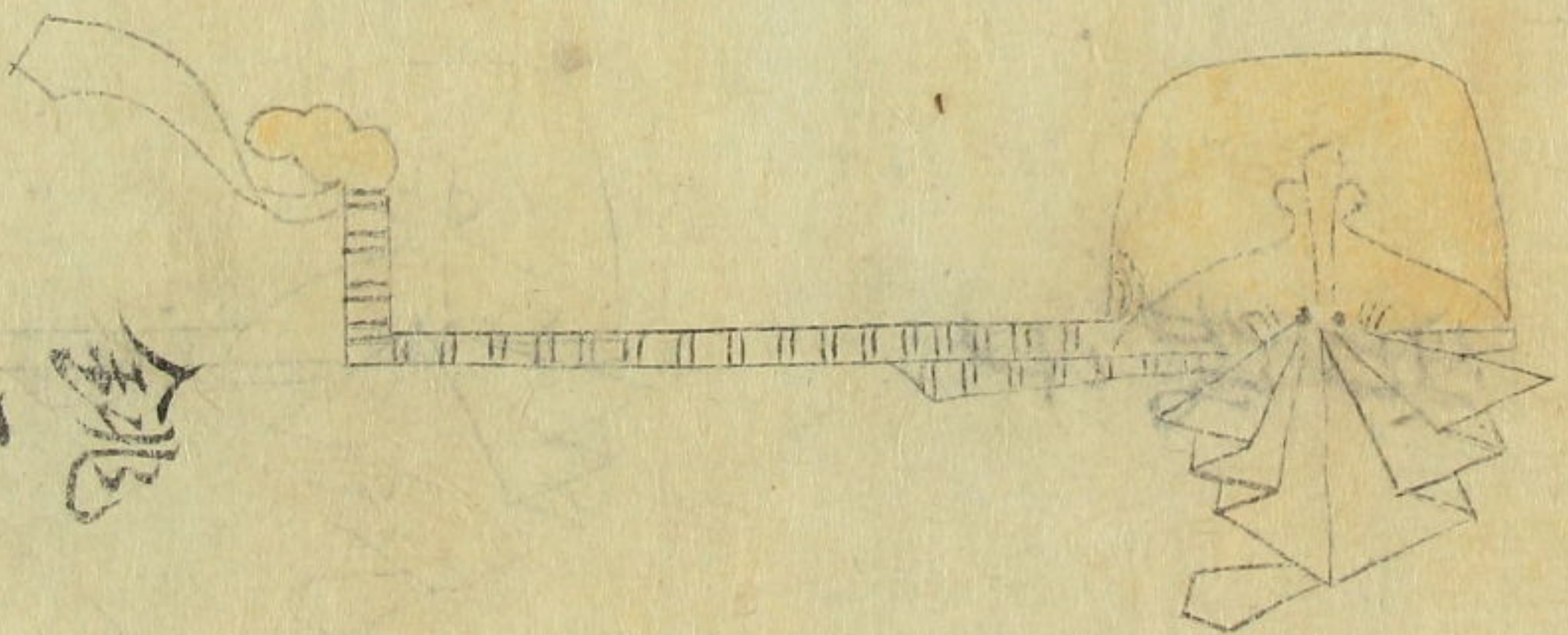
女瓶子

三盃

男瓶子



提子



鉈子

提子

一 郷食膳乃食盛様のるりの上の
廣いさ五寸下四寸高さ五寸二寸

一 郷食膳乃食盛様のるり上の

廣さ五寸下四寸高さ五寸二寸

並ふよせ飯と盛様のるり

振まやう甲さきこころの

方りけりやあつらひ

一 汁乃るり鯉を毛切りしん

能事なり

一 赤のふんじん鰯二ツ

かよけしきさき

一 片のふんじんの

中へ海老をきり

地の振やう

一 着のるり徳軍

耳さきよのせきし

平たいものでもし

一 二重乃る子孫三枚厚さ

餅は打海の形や合塚の

二枚目の餅は、向ふ

餅はぬめこ二枚目

籠らのきくゆん

Iは餅は

まほな

縄

一 口の向う

餅を

三合銀乃

生栗粉

餅

生栗粉村子えか三金揚子

酒のうのまめいひあやうね前

のまめには鶴二つ好まなはのまめ

尾ひれえのれやうねいひと

一ツ取中とありは信走借

上三ツの條のわらめとらんを

取くまじあもいも取

とえううの下の條のひ

うのこを浪めしあま

おろしあまの條の解あま

はかやを浪めしあま

てはまうしあまのあま

あまを鞠しあま

一はまの白あま

大はまをさあま

一 江戸の目録に記す

大徳堂とてふところを

申すに江戸の録の目録

改題申すのふくむ借紙

多量に博覧しりて

表すにあらぬ

一 江戸の目録に記す

一 江戸の目録に記す

一 江戸の目録に記す

一 江戸の目録に記す

一 江戸の目録に記す

一 江戸の目録に記す

表すにあらぬ

一 江戸の目録に記す

一 江戸の目録に記す

とすおや口傳

一 幸多の里之部ありき幸のゆゑ

下次相をしく集るものさく

又ゆれや 一 幸一 幸

了傳

小笠原大膳大夫

長崎

同 古近左史

貞慶

右一卷 雖為秘事 依

以執心深 忠信と進之果

妄不可有 外見者也

小池 甚之丞

貞成

上原 八左衛門

定宣

水嶋 卜也

之成

伊藤 甚右衛門

小池甚之至
自辰

上原八左衛門

水嶋甚之實

水嶋卜也

上原九左衛門
之成

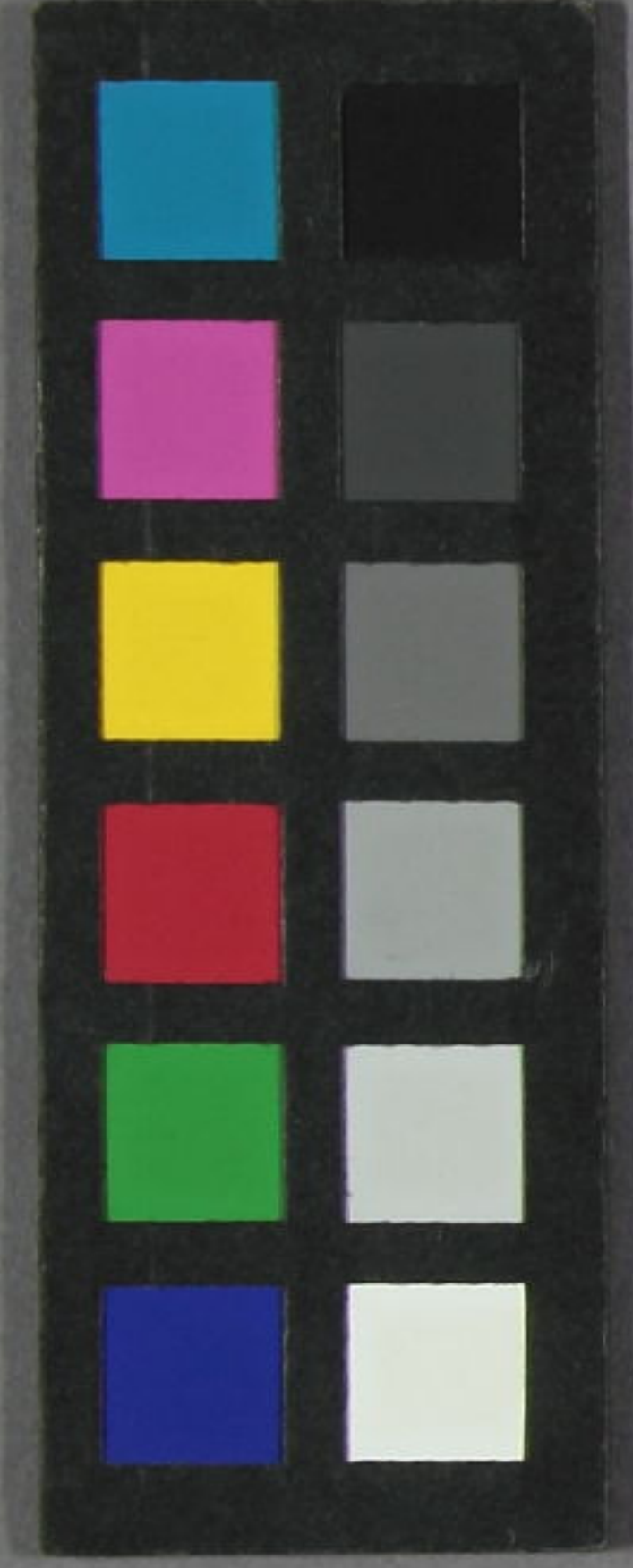
伊藤甚右衛門

幸氏

本間金

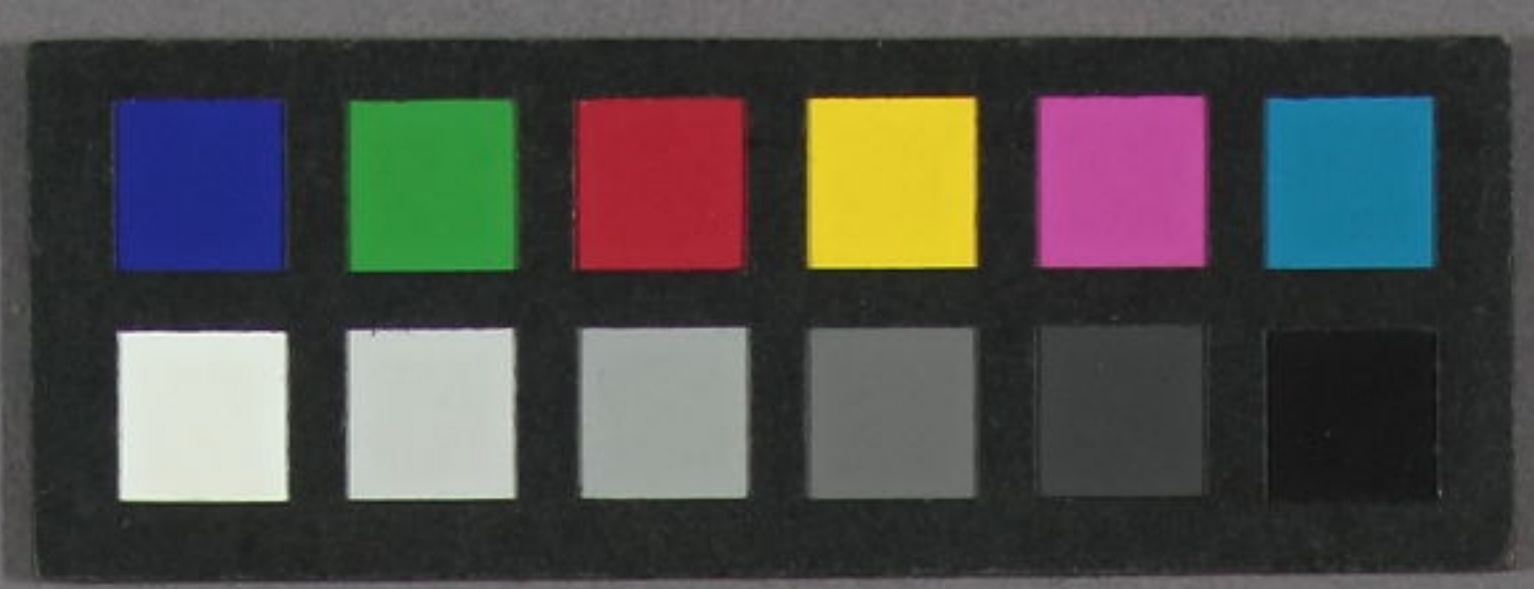


百星



73
3645
185





73 特
3645
185

婚禮床飾之卷

婚禮床飾之卷

保子
3645
185



73
3645
185